

国会の攻防で取り上げた主な法案(昭和60年代から平成5年)

該当項目	年	国会回次	内閣	与党	法案(略称)	結果	法案を巡る攻防
(14)	1987	108	中曽根	自民	売上税法案	衆院で廃案	野党が総予算を人質に取って抵抗したために予算審議混乱。自民内からも法案に反発。委員会強行採決、2泊3日の衆院本会議の末、議長あっせん廃案決定。暫定予算を組んだものの総予算は無事に成立
(15)	1988	113	竹下	〃	消費税法案	成立	自民が公明、民社を取り込み衆院で修正議決。参院審議途中で大蔵大臣辞任(リクルート問題)、社会不信任乱発 リクルート問題、支持率低下で成立から半年後に退陣、新内閣での直後の参院選で与党敗北し衆参ねじれへ
(16)	1990	119	海部	〃	PKO法案	衆院で廃案	現行憲法下で自衛隊の海外派遣を認める重大局面も法案の準備不足が露呈し政府答弁も混乱。社会以外の野党も反対し、与野党幹事長書記長会談で廃案決定。一方、自民、公明、民社で国際平和協力党書合意
	1991	121	〃	〃	PKO法案	衆院で継続	上記合意に基づきPKF参加5原則など協議。自民、公明、民社vs社会、共産の構図。同時期に審議していた政治改革法案廃案により内閣総辞職したが、法案は継続。
					政治改革法案	衆院で廃案	衆議院の小選挙区制度導入に野党が反対しただけでなく、自民も審議に消極的。特別委員長(自民)が審議未了廃案と判断し、記者会見で発表。総理は解散を模索するも党内の反発に合い内閣総辞職。
	〃	122	宮澤	〃	PKO法案(121回の継続)	参院で継続	新政権で継続した法案を審議。委員会で強行採決し社会が不信任等提出も、補充質疑で与野党合意し不信任等は撤回して衆院本会議で円満に可決。民社は反対に回る。会期切で参院で継続
	1992	123	〃	〃	〃	成立	修正協議に合意し民社も賛成に戻る。社会が不信任等を乱発し参院本会議は4泊5日。衆院では社会の不信任等封じのために内閣信任決議案を初めて可決し本会議は2泊3日。社会と社民連の全所属議員が議員辞職願を提出
	1993	126	〃	〃	政治改革法案(議員立法)	衆院で廃案	度重なる政治とカネの問題に対処するため、自民案と社会、公明案を一括して審議。自民が分裂し、内閣不信任決議案可決(4例目)。衆院解散し、政権交代へ